

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

川内聖二

実施月日	令和5年7月4日(火)			
実施時間	13:00~14:35			
調査先	陸上自衛隊木更津駐屯地			
調査所在	陸上自衛隊木更津駐屯地			
調査の目的	V-22(オスプレイ)地上研修及び航空研修			
調査先担当者	第1ヘリコプター団長 陸将舗 廣瀬敏彦氏 他担当官			
内容・結果等	【目的】今回、佐賀空港へ自衛隊輸送機V-22オスプレイ配備計画が決定したことを踏まえ、オスプレイとは実際どのようなものか(機体の性能、特徴、音の大きさ等)、駐屯地では現在どのような訓練が行われているか伺った。			
	【内容】現在、日本で唯一オスプレイを配備する木更津駐屯地は、敷地面積210万平方メートル(東京ドーム約45個分)の広さで、第1ヘリコプター団としてオスプレイを含めた輸送航空隊が配置され、現在約1,000名以上の隊員が駐屯する各部隊に所属している。			
	現在、14機のオスプレイが暫定配備されているが、最終的には17機配備する予定で残り3機は米国で製造を行っている。駐屯地には、オスプレイを含め約70機の機体が配備されていて、オスプレイに関しては最大速度(連続)約465km/h、航空距離約2,600km、乗務員数3名、搭乗者数24名、搭載重量(内部)約9,100kg、吊上重量(外部)約6,800kgの能力である。			
	これまでの輸送ヘリ(CH-47JA)と比較し、最大速度は約2倍で航続距離は約3倍とオスプレイの性能の説明を受けた。			
	【感想】佐賀空港に配備されるオスプレイの同型機の性能や用途等について説明を受け、佐賀空港にオスプレイが配備されることにより、昨今、気象変動による自然災害が多発している九州で、被災された方の救助活動や災害で道路等が遮断され孤立した地域への物資等の迅速な配給がこれまで以上に向上すると考え、自然災害時も含め様々な場面での運用を強く望む。			
	上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
		旅費・宿泊費		60,930
		交通費		6,110
		合計		67,040

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

川内聖二

実施月日	令和5年7月5日(水)		
実施時間	10:00~11:00		
調査先	防衛省地方協力局西日本協力課		
調査所在	東京都新宿区市谷本村町5-1		
調査の目的	嬉野市議会防衛議員連盟と防衛省との意見交換		
調査先担当者	防衛省 防衛計画課長 伊藤伸哉 氏 運用調整参事官 菊池哲史 氏 施設計画課他		
内容・結果等	【目的】今回、佐賀空港へ自衛隊輸送機V-22オスプレイ配備計画が決定したことを踏まえ、厳しさを増す我が国の防衛体制の現状について、オスプレイが佐賀空港に配備される目的や、その重要性と大野原演習場の利用の有無について伺った。		
	【内容】「なぜ、いま防衛力の抜本的強化が必要なのか」として説明を受けた。はじめに、まず優先されるべきは、我が国にとって望ましい国際環境をつくるための外交努力で、同時に外交には裏付けとなる防衛力が必要と話された。		
	(1) 厳しさが増す我が国の防衛体制の現状では、戦後、最も厳しい複雑な安全保障環境に直面し中国、北朝鮮、ロシアが軍事力を増強しつつ軍事活動を活発化する中、我が国はその最前線に位置している。(2) オスプレイが佐賀空港に配備される目的やその重要性として、オスプレイは、早い巡行速度と長い航続距離を持ち高高度を飛行可能で、我が国の島嶼防衛能力を強化する上で不可欠な装備品。また、その高い能力を活用することにより、災害活動や離島における急患輸送にも極めて有益と説明を受けた。(3) 大野原演習場の利用の有無については、有益な演習場であるが九州の他の演習場もあることから、今後調整が必要と話され、現在、大野原演習場の利用活用計画は無かった。		
	【感想】日本を取り巻く近隣諸国の状況を鑑みて、他国との外交により戦争を未然に防ぐのが重要と考えるが、外交努力を尽くしても有事に至ってしまうこともある。戦争を未然に防ぐためにも、国は国民の生命と財産を確実に守り抜く力を抑止力として持たなければならないと考える。		
	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費・宿泊費		
	合計		0

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること